

EXPRESSBUILDER
サーバ管理機能

EXPRESSBUILDER

1.概要

Express5800 のセットアップは、EXPRESSBUILDER を使用してディスクアレイのコンフィグレーションや OS のインストール等を行う

EXPRESSBUILDER は、Express5800 シリーズをセットアップするための各種ユーティリティを CD-ROM1 枚に統合し、セットアップの簡便さを実現している

Windows NT Server 4.0 の自動インストールツールとして ExpressPicnic を提供

EXPRESSBUILDER の特長

(1)簡便性

各種ユーティリティが 1 枚の CD-ROM に統合されたため、運用 / 保管が容易

(2)正確性

自動的にハードウェア構成を判断して各種ユーティリティのパラメータが設定できる為、セットアップを正確に進めることが可能

(3)拡張性

各種ユーティリティを個別に操作できる為、詳細なセットアップが可能

2.EXPRESSBUILDER の主な収録内容

収録内容	説明
ExpressPicnic	Windows NT Server 4.0 の自動インストールツール
ESMPRO Server Manager/Server Agent	サーバ管理ソフトウェア
MWA(Management Workstation Application)	ネットワーク上の管理対象マシンをリモート管理するアプリケーション
DAC960 MS-DOS ユーティリティ(DACCF)	ディスクアレイコントローラのコンフィグレーションユーティリティ
Global Array Manager	ディスクアレイコントローラを OS 上で管理・保守するアプリケーション
CLARiiON Array Manager	クラスタ用共有ディスクを OS 上で管理・保守するアプリケーション
システムコンフィグレーションユーティリティ (ICU/ECU/ SCU /SSU/RCU)	ISA ボードの追加・変更時にボードの構成情報を登録するためのユーティリティ
オフライン保守ユーティリティ	障害発生時に障害原因を解析するためのユーティリティ
システム診断ユーティリティ(T&D)	本体の機能および本体と拡張ボードとの接続などを検査するユーティリティ
MS-DOS	MS-DOS 起動ディスクの作成用
WindowsNT OEM-DISK for EXPRESSBUILDER	WindowsNT の Express5800 用 HAL、ドライバ
NetWare NEC 差分 Driver	NetWare の Express5800 用ドライバ
サーバマネージメントボード(SMB)FW	サーバマネージメントボードのファームウェア

3. ExpressPicnic

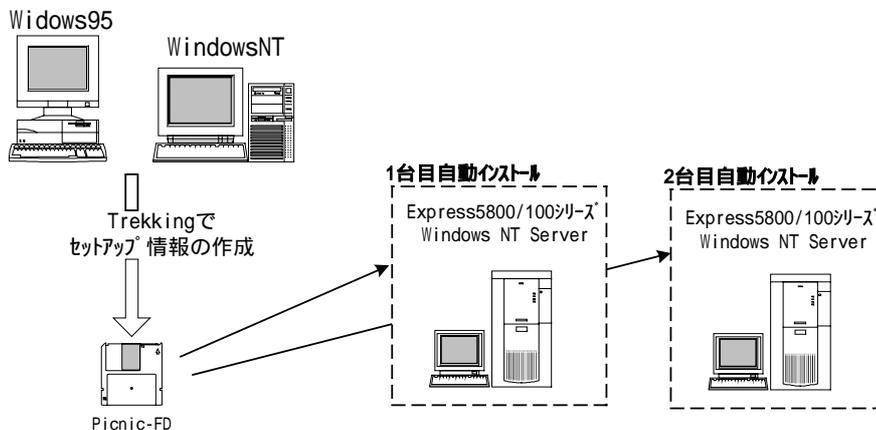
Express5800/100 シリーズ対応 Windows NT Server 4.0 自動インストールツール

ExpressPicnic では、Windows NT Server 4.0 のセットアップ情報（マシン名、ネットワークプロトコル等）をセットアッププロセスの初期段階に入力する事でインストールを自動化し、オペレータの拘束時間を短縮できる。

Trekking（セットアップ情報設定ツール）にて、予めサーバのセットアップ情報ファイルをFD(Picnic-FD)に作成し、Windows NT Server 4.0 のインストール時に読み込ませることも可能。大量導入時に活用できる。

設定内容を確認したい時は、Picnic-FD の内容を印刷することもできる。

* Trekking は Windows 95、Windows NT Server 4.0 の動作する Intel 製プロセッサを搭載したコンピュータで動作可能。



4. セットアップ概要

EXPRESSBUILDER には 2 種類(簡易・カスタム)のセットアップ方法がある。

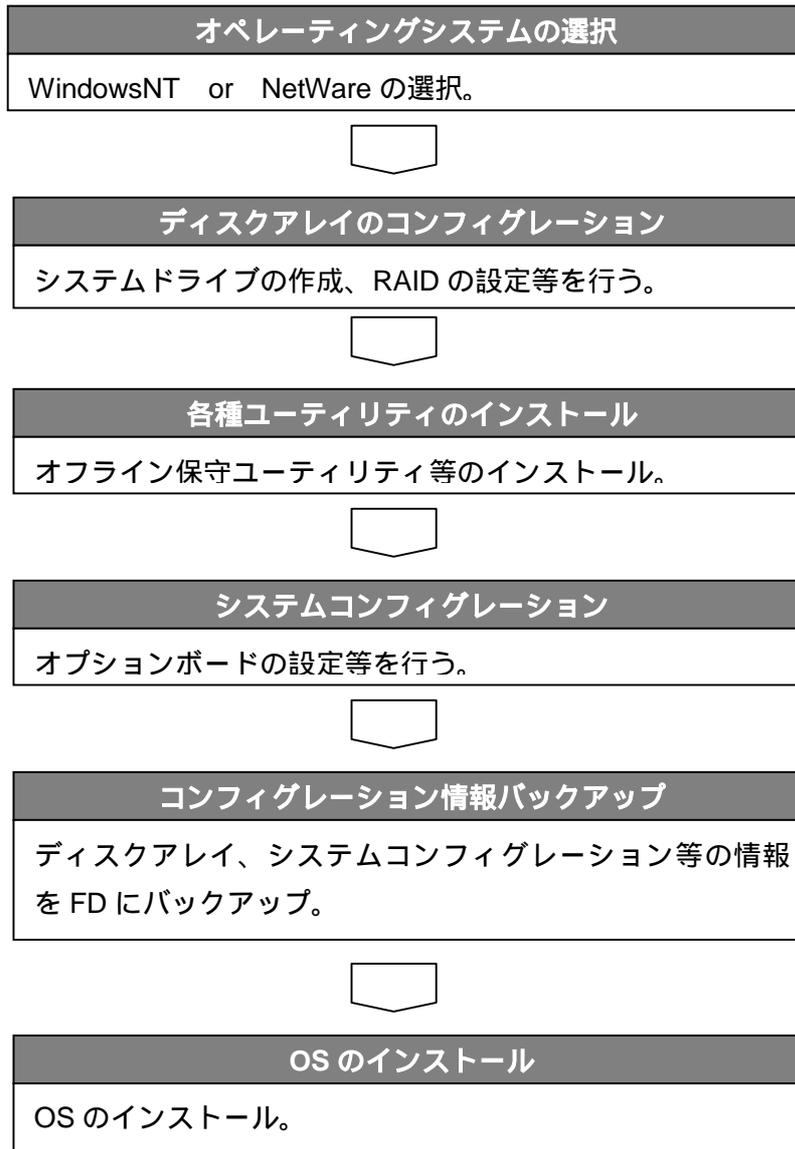
・簡易セットアップ

EXPRESSBUILDER は、Express5800 のハードウェア構成を検査しセットアップに必要なユーティリティを起動して、適切な設定を自動的に行う。

・カスタムセットアップ

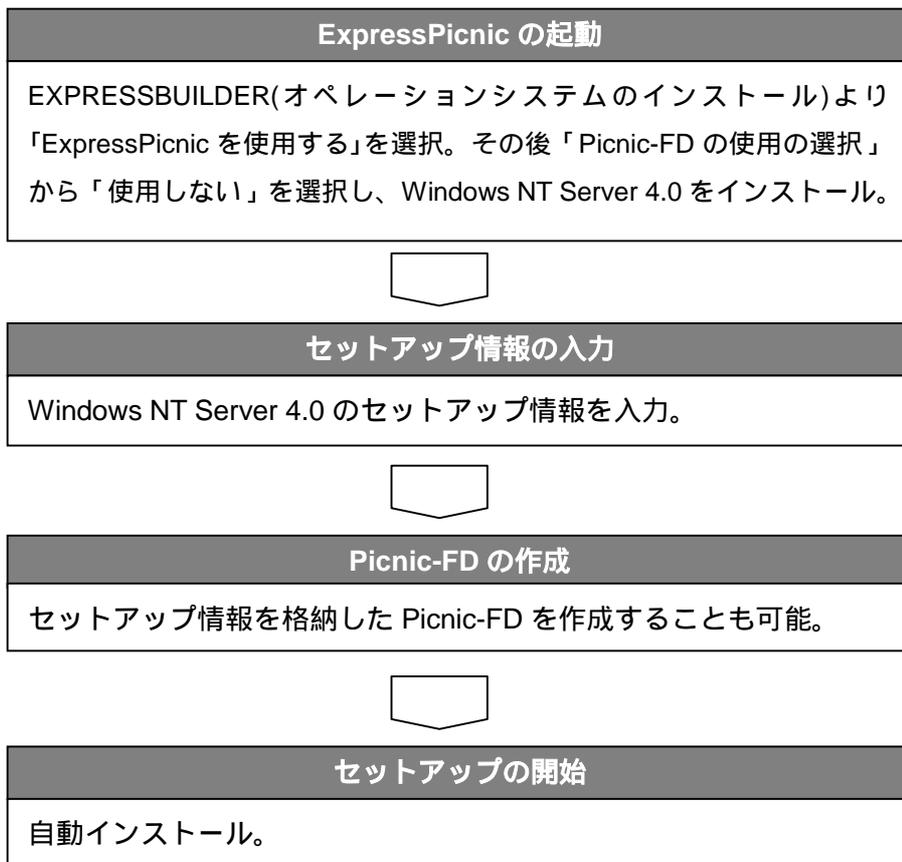
EXPRESSBUILDER に納められている各種ユーティリティを個別で起動し、手動にてセットアップを行う。また、システム診断やサポートディスクの作成等は、カスタムセットアップにて行う。

EXPRESSBUILDER セットアップ概要フローチャート

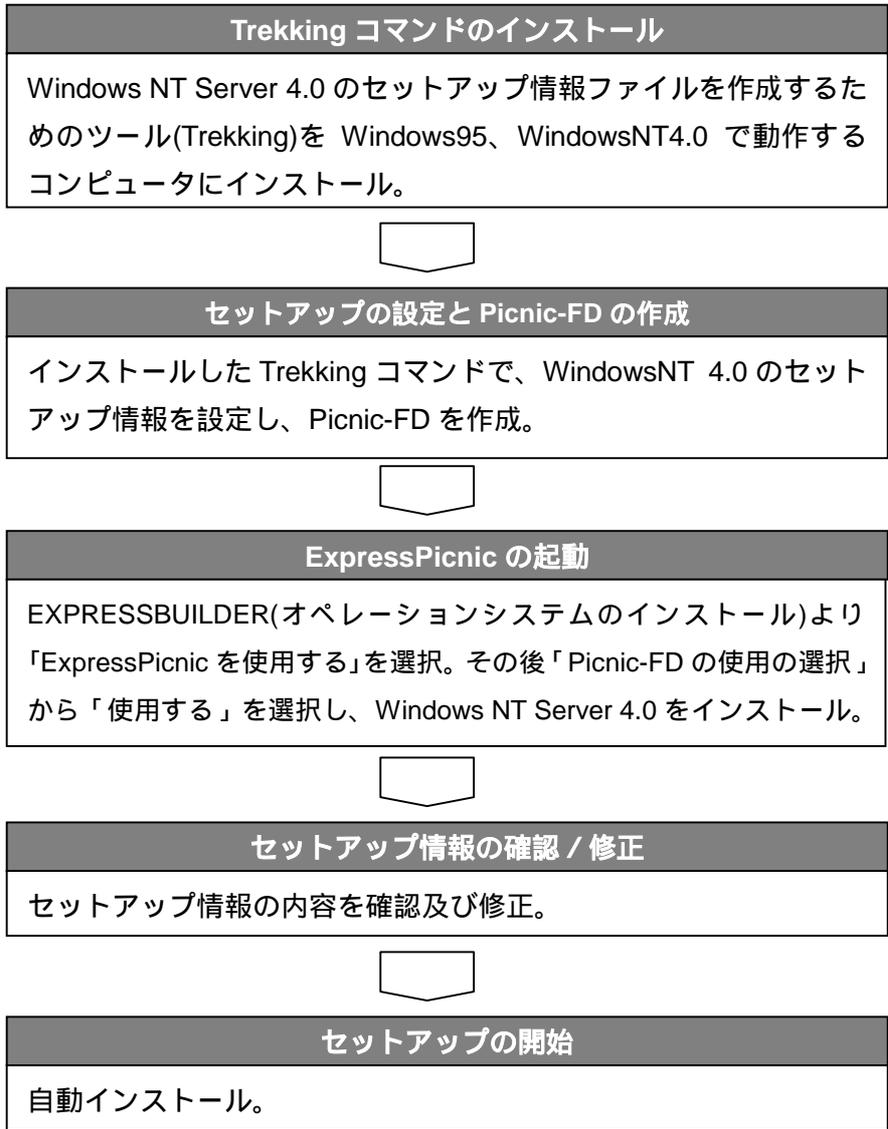


ExpressPicnic の使用方法

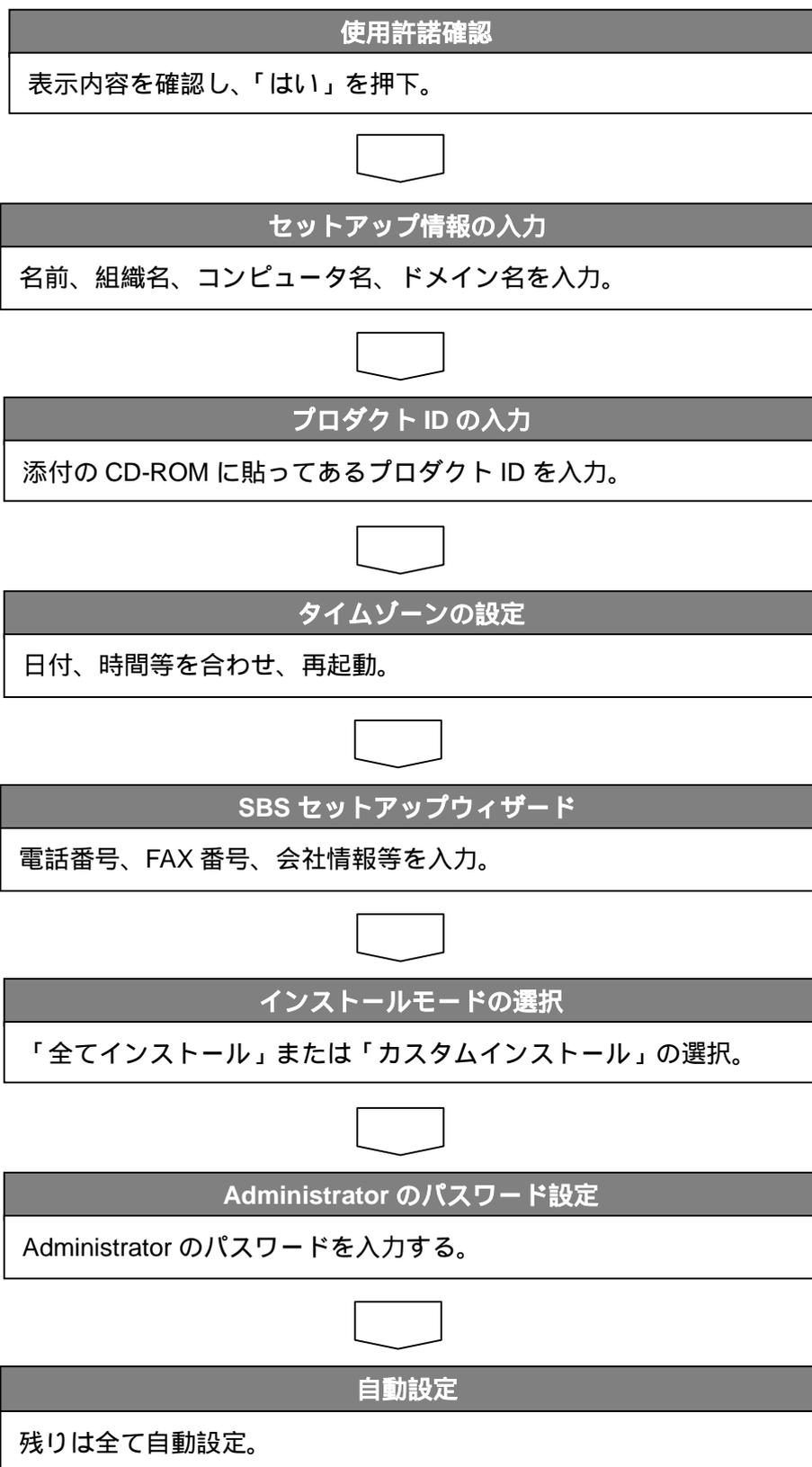
通常の場合



事前に設定情報を作成する場合



SBS プレインストールモデルのセットアップ概要フローチャート



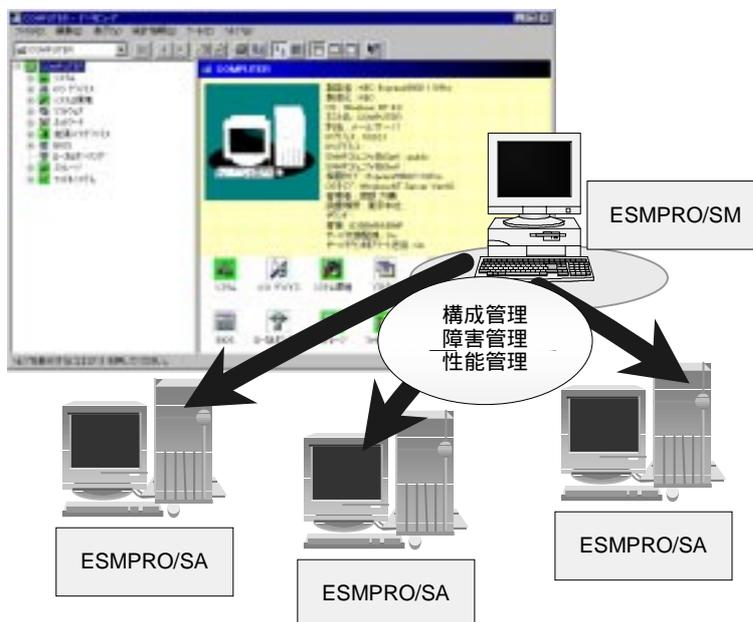
5.注意事項

- EXPRESSBUILDER を実行する場合、モデル名が同一であっても一部対応していない装置があるため、必ず CD-ROM が添付されていた装置においてのみ実行する事。
- ExpressPicnic は Microsoft BackOffice Small Business Server 4.0 および Microsoft Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0 は未サポート。

サーバ管理機能

1. ESMPRO/ServerManager-Agent

サーバ管理ソフトウェア ESMPRO/ServerManager,ESMPRO/ServerAgent を本体にバンドル。
ESMPRO/ServerManager(ESMPRO/SM)は、サーバの稼働状況、構成情報管理、障害管理などのサーバ管理機能とこれらの情報を参照するためのビューアを提供する。
ESMPRO/ServerAgent(ESMPRO/SA)は、Express5800 に装備された障害監視機能およびオプション製品のサーバマネジメントボードと連携して、稼働状況、障害検出等の監視機能を提供する。
ESMPRO/SA で監視する情報は、ESMPRO/SM から参照できる。



ESMPRO/SM,SA を利用して、1 台の管理 PC のもとでネットワーク上の複数台の Express5800 を一元管理する事ができる。サーバで障害が発生した場合、それを自動検出して管理者に通報する。また、障害箇所や障害内容、対処方法を表示するので、迅速な復旧作業が可能となる。更に、CPU 負荷率やメモリ使用量などのサーバ稼働状況を監視する事もできる。

2. ESMPRO 製品との連携

ESMPRO/SM は、統合ビューアであるオペレーションウインドウ、サーバの情報を参照するデータビューアとサーバ監視のログを記録するアラートビューアで構成。

ESMPRO 各製品を Express5800 にインストールすると、オペレーションウインドウを中心として ESMPRO 製品との連携を実現。また、ESMPRO 各製品で発生したイベントもアラートビューアのログとして残る。

< 連携する主な製品 >

- ESMPRO/ServerManager
- ESMPRO/ServerAgent
- ESMPRO/EnterpriseManager
- ESMPRO/Netvisor(HUB 管理/ルータ管理/etc)
- ESMPRO/ClientManager
- ESMPRO/AlertManager
- ESMPRO/JMSS
- ESMPRO/FileTransfer
- ESMPRO/Relay
- ESMPRO/DeliveryManager
- ESMPRO/UPSController
- ESMPRO/AutomaticRunnigController
- ESMPRO/PerformanceManager
- ESMPRO/PrintManager

- ARCserve for WindowsNT
- InocuLAN for WindowsNT